

# 1996年 (平成8年)

日本経済は夏場に足踏み状態に陥ったものの、秋口以降は設備投資の堅調や、消費税引き上げ前の駆け込み需要もあって、再び回復基調を取り戻した。ゴム工業にあっては、自動車タイヤが市販用と輸出用出荷の好調から、過去最高の生産実績を記録した。

## 本会の主要業務活動等

- 3月 クリーンジャパンセンターの委託を受け、本会、日本自動車タイヤ協会および再生ゴム工業会の3団体共同で「ゴムマテリアルリサイクル製品」に関するパンフレットを作成、発行
- 4月 ガス管部会で、都市ガス用ゴム管の自主検査基準を改正～従来の青ゴム管を廃止して、新ガスソフトコードに一本化
- 5月 労務専門委員(7名)による海外研修(欧州、特にドイツを中心にした労働事情の視察)を実施
- 6月 安全衛生専門委員会で、「はさまれ災害防止マニュアル&災害事例」を発行
- 7月 環境専門委員会で、廃棄物処理と関連し、「焼却炉等に関するアンケート調査結果レポート」を発行
- 8月 通産省の容器包装リサイクル法関係の実態調査に協力
  - 〃 中国から中聯橡膠総公司のゴム視察団(17名)が来日し懇談
- 9月 環境専門委員会の組織見直しを検討し、この一環として環境問題に関するアンケート調査を実施
- 11月 経団連の要請に応じ、「日本ゴム工業会環境保全に関する自主的行動計画」を策定、提出

## ゴム産業関連事項

- 4月 補修市場向けタイヤ全商品に対しオープン価格制が実施(本制度の導入によりメーカー希望小売価格は廃止)
  - 〃 ISO/TC41(ベルト・プーリー)の国際会議が日本(奈良)で開催
  - ☆ 自動車タイヤ生産がゴム量で1,076千トンの史上最高を記録

## 政治・経済・社会情勢

- 1月 橋本龍太郎内閣発足
- 2月 政府、事実上の景気回復宣言
- 3月 公示地価5年連続で下落
  - 〃 特定石油製品輸入暫定措置法(特石法)が廃止～輸入が自由化
  - 〃 アジア10カ国と欧州15カ国・欧州委員会の首脳・代表による初のアジア欧州首脳会議(ASEM)がバンコクで開幕
  - 〃 台湾初の総統直接選挙が行われ、国民党主席の李登輝氏が当選
- 6月 政府は閣議で、消費税を97年4月1日から5%に引き上げることを決定
- 7月 アトランタオリンピック開幕(7/19～8/4)
  - 〃 堺市でO157食中毒発生
- 10月 第41回総選挙～小選挙区・比例代表並列制による
- 11月 第2次橋本内閣成立
- 12月 ベルー日本大使公邸で左翼ゲリラによる人質事件発生
  - 〃 本年最後の東京外為市場は1ドル=116円18銭とこの年の最安値を更新

参考データ	公定歩合の動き	GDP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
	.....	499兆8,610億円 実質成長率:3.9%	10,347千台 前年比:1.5%	1,421千トン 前年比:3.5%